



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。市HP「よぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.70 職場への引きこもり



今年6月、70代のある省庁の元事務次官(事務方のトップ)が、引きこもりがちだった40代の息子を殺してしまう痛ましい事件が起きました。息子のことを長年悩みながらも、誰にも相談できなかったようです。

経済成長をめざして、一目散に走り、「良い大学に行くこと、良い会社に勤めることが素晴らしい」とされてきた社会の限界が来ていると感じました。そして、私を含め、同じ時代を生きてきた男性の多くは、子育てや地域という日々の暮らしからは距離を置き、「職場に引きこもっていた」と言えるのではないかと思います。

時代を振り返ると、日本は、昭和30年代後半から豊かになりはじめ、大人達はテレビや冷蔵庫、車といった便利なものを手に入れるため、外に働きに出るようになり、毎日が忙しくなりました。それまで地域で住民が担っていた仕事、例えば、防犯のための夜回りや道役(道路の側溝や草刈り、道路の凸凹の補修等を行うこと)などは、忙しくなった住民ではやれなくなり、税金を払って行政にやってもらうようになりました。ご近所や親戚に相談して解決していた生活の中のちょっとした困り事も、サービスを提供する会社等へお金を支払うことで解決できるようになりました。お金という対価を支払うことで、相手に対して文句も言いやすくなりました。そうして、だんだんと「誰かがやってくれる」「行政がやるのが当たり前」という感覚が変わり、「地域のために働く」「住民自治」という発想自体が薄れてきたのかもしれない。

人口減少、高齢化が進み、近い将来、「何もかも行政にお任せ」では立ち行かなくなる時代がやってきます。これから大きな力になるのが、リタイア世代の方々です。

「職場に引きこもっていた」男性が、現役時代の価値観から脱却し、いかに上手に地域に戻るかが重要になってきます。しかし、今は、地域に戻るための仕組みがありません。第2の義務教育として、「学びの場」が必要かもしれません。「還暦式」といった形で実施しているところもあるようなので、市民の皆さんの知恵と力を借りて、一緒に考えていきたいと思えます。

大人達が地域の一員として活躍する姿、リタイア後の人生を役割を持ってイキイキと過ごす姿を、現役世代や次世代を担う子ども達に見せることは、必ず、長久手市の将来良い大きな影響を与えてくれるはずですよ。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは! 西小学校区まちづくり協議会 検 索 **です。**

◆11月17日(日) **市内一斉防災訓練**
無事ですカード ご利用ください 
★当日、受付等のボランティアを募集しています
 (西小学校区体育館、8時半~12時 応募は下記電話番号に)

◆12月1日(日) **まち協フェスティバル**♪
 ・9時半~
 ・西小校区共生ステーション&駐車場
 ・コンサート、ミニSL、ポン菓子、フリマなど
 ※詳しくは、11月上旬に配布する
 広報「みんなの西まち」をご覧ください。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
 nishi.no.machikyo@gmail.com 

市が洞 市が洞小学校
イメージキャラクター イチニースマイルトリオ
 小学校区まちづくり協議会

■子どもたちとさつま芋の収穫
 民生委員を中心としたみなさんで植え付けをしたさつ
 ま芋も順調に育っています。秋には収穫時期を迎え、11
 月中旬には市が洞小学校2年生の子どもたちと一緒に
 さつま芋掘りを行います。詳細についてはホームページ
 でお知らせします。
<http://ichigahora.sakura.ne.jp/> (協議会HP)

■夏休みラジオ体操を開催しました ご参加をありがとう
ございました。
 夏休みに長湫南部公園と蟹原公園でラジオ体操を開
 催しました。日差しが降り注ぐ暑い中での取り組みで
 したが、長湫南部公園に延べ396名、蟹原公園には
 延べ327名と多くの方々にご参加いただきました。

 **長久手市地域見守り安心ほっとライン** **0561-63-5556** 24時間 365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください